

平成29年12月22日

熊谷学園 2-3 期 南京玉すだれクラブ(86回公演)報告スタート
29.12.21 特別養護老人ホーム「ルーエ」 熊谷市川原明戸

今日の公演は11月に訪問した折り、御依頼をいただいたものです。

午前中は「くまびあ」で定例の練習をしました。そこでは2月に参加する熊連協芸能祭に備え新しい出し物の練習をして施設に向かいました。

当初1時30分からと聞いていましたので、それに合わせ午後1時00分に着き、部屋に通され準備しました。今日のお客さんは入所している特別養護老人ホームの方35人と職員5人です。衣装はクリスマスに合わせ、赤いサンタクロースの帽子をかぶりました。

公演会場は食事をするホールで開演時間も変更になり、それでも1時40分頃には上階部から皆さんが降りてきて、予定時刻前にはほとんど集まって待っていてくれました。

施設側から我々の紹介をして戴き、以後マイクを受けて公演が始まりました。

今日は舩田さんが会議で欠席し4人での公演です。そこで今日は「南京玉すだれ」の口上は栗原さんをお願いしました。

ほとんどの人が「南京玉すだれ」を目の前で見るのは初めてで、口唄に合わせ演技が始まると、初めのうちはパラパラの拍手が次第に聞かれるようになり、阿弥陀如来の円形を描く大きな輪を演じた時には、驚きの声と共に一段と大きな拍手もいただきました。

「玉すだれ」の特異な動きをお話して、次の「各人の得意技」のコーナーでも、元気な回答が返ってきました。続いて「きよしのズンドコ節」を行いました。ピンク、ブルーそしてグリーンのキラキラモールでのフィナールでは「きれいだね～」という言葉も聞かれました。

「玉すだれ体験」コーナーが終わり「サザエさん体操」のコーナーでは職員の人にも参加してもらい、全員で曲に合わせて手を上げ、体を動かして楽しい体操になりました。

最後に「東京五輪音頭」を披露し、50分の公演が終わりました。会場を後にするに当たり、手を握り、手を振って再会を約束して帰ってきました。





